

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop の使用上の注意事項を連絡します。

- I/Oレジスタ値を編集する際の注意事項

1. 該当製品

High-performance Embedded Workshop V.4.00.00～V.4.00.03

- High-performance Embedded Workshopは連携するコンパイラなどのソフトウェア製品にバンドルされています。
- High-performance Embedded Workshopのバージョンは、「ヘルプ」メニューを開き、「High-performance Embedded Workshopのバージョン情報」コマンドを選択すると確認できます。

2. 内容

IOウィンドウ(*1)の「Value」フィールドに表示されているI/Oレジスタ値の最上位の4ビットが"B"の場合、I/Oレジスタ値を編集するためのダイアログボックス(*2)の「現在の値」および「変更値」フィールドに間違った値が表示されます。

この状態で「OK」ボタンをクリックすると、I/Oレジスタに間違った値が設定されます。

発生例:

- (1) 8ビットレジスタの場合
「Value」カラムに表示されているI/Oレジスタ値が"BB"の場合、I/Oレジスタ値を編集するダイアログボックスの「現在の値」および「変更値」に"0"が表示される。
- (2) 16ビットレジスタの場合
「Value」カラムに表示されているI/Oレジスタ値が"B222"の場合、I/Oレジスタ値を編集するダイアログボックスの「現在の

値」および「変更値」に"222"が表示される。

(3) 32ビットレジスタの場合

「Value」カラムに表示されているI/Oレジスタ値が"BFFF0000"の場合、I/Oレジスタ値を編集するダイアログボックスの「現在の値」および「変更値」に"FFF0000"が表示される。

- *1. 「表示」メニューを選択し「CPU」->「IO」コマンドを選択して開く。
- *2. IOウィンドウで、値を変更するI/Oレジスタの情報が表示されている行をダブルクリックして開く。

3. 回避策

I/Oレジスタ値を編集する場合は、インプレース編集を使用してください。以下の手順で編集できます。

- (1) 値を編集するI/Oレジスタ値をクリックすると、その行の色が反転する。
もう一度I/Oレジスタ値をクリックすると値の編集可能になる。
- (2) 変更する値を入力する。
- (3) Enterキーを押す。

4. 恒久対策

次期バージョンアップで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。